

# 第1回恵那市福祉センターあり方検討委員会 会議録

日時：令和7年7月29日（火）14時から  
場所：恵那市福祉センター3階会議室

---

1. 委嘱書交付
2. 市長あいさつ
3. 委員紹介
4. 正副委員長の選任
5. 議事
  - (1) 委員会の設置目的について
  - (2) スケジュール（案）
  - (3) 福祉センターの概要
  - (4) 現状・課題
6. その他
7. 閉会

恵那市福祉センター見学

---

出席者（16名）欠席者なし

### ■進行（事務局）

本日の委員会は、「恵那市附屬機関等の会議の公開に関する要綱」に基づき、原則公開とし、会議録においても公表する。

### ■進行（事務局）

定刻により、第1回恵那市福祉センターあり方検討委員会を開催する。

本日の進行を務める社会福祉課鈴木です。

本委員会は、恵那市福祉センターあり方検討委員会設置要綱の第6条第2項に基づき委員の半数以上の出席があったため開催するものである。

次第に沿って進める。

## 1. 委嘱式

### ■進行（事務局）

委嘱状を交付させていただく。時間の都合上代表者の方のみ交付する。他の委員には、席に配布している。

〔 恵那市長より、委員へ会場前方中央にて委嘱書を交付 〕

## 2. 市長あいさつ

### ■小坂喬峰市長

本日は大変暑い中、足を運んでいただき誠にありがとうございます。先ほど、恵那市福祉センターあり方検討委員会の委員として皆様に委嘱させていただいた。任期は今年度いっぱいということで皆様には福祉センターのあり方について様々な意見を重ねていただければと考えている。手元の資料にも記載されているが、恵那市福祉センターは建築から42年建っている。また、岩村や明智、串原も30年前後経過している。建設当時に関わっていた人々の思い描いていた機能やサービス、課題は時間が経過していくなかで随分様変わりしていくように感じる。おそらく今後の福祉センターは、単なる機能ではなく、地域にとって大切な拠点でありプラットフォームでもあり、もしかしたらハブとして様々な人々を結びつけるような機能が求められていくのではないかと考える。皆様も特定のことなどられることなく、市外、県外含めて他市の事例や色々なを見て学んでいただきなら恵那市にとって何が必要か議論を重ねていただき、多くの皆様のお力を借りしながら素晴らしい福祉センターのあり方を検討できるようお願い申し上げます。

### 3. 委員紹介

#### ■進行（事務局）

それでは、各委員の皆様方より自己紹介をお願いしたい。

〔各委員及び事務局 自己紹介〕

### 4. 正副委員長の選任

#### ■進行（事務局）

恵那市福祉センターあり方検討委員会設置要綱の第5条第2項に基づき、正副委員長を皆様の中から選出いただきたい。

#### ■委員

委員長について、社会福祉に精通されている委員を推薦する。

#### ■進行（事務局）

ただいま、委員を委員長に推薦する意見がありましたかがでしょうか。

〔「異議なし」の声〕

#### ■進行（事務局）

異議なしのため、委員には委員長を務めていただく。

委員に、委員長席へ異動をお願いする。

続いて副委員長の選任を行う。副委員長については、委員長より指名いただきたい。

#### ■委員長

規定により、副委員長の指名をさせていただく。私が市外の人間ということもあり、市内のことについて詳しい大井地域自治区会長の委員にお願いをしたい。

#### ■進行（事務局）

委員には副委員長を務めていただく。

委員長・副委員長には一言ずつ挨拶をお願いする。

〔委員長・副委員長挨拶〕

### ■委員長

ほとんどの方が初めての方となります、恵那市とは以前から関わさせていただいている。合併前の旧町村時代に、社会福祉協議会の立ち上げにも関わさせていただいた。恵那市は縁がある地域である。今回恵那市福祉センターのあり方検討会ということで委員に指名いただいた。先ほど市長が委員会の使命について申し上げたが、地域の中で、子どもや高齢者、障がい者等支援が必要な方々を地域でどう守っていくかが大きな課題となっている。地域福祉の拠り所、起点となる地域福祉センターにどのような機能を持たせていくのかを皆様と検討できるのをうれしく思う。目的というレールに向かって会議を行うことが多いが、今回は皆様がどういった福祉センターにしていきたいか夢を語れる会議となる。皆様の知恵で素晴らしいセンターを作っていくべきだと考えている。充分ではないかもしれませんがあげさせていただく。どうかご協力のほどよろしくお願ひいたします。

### ■副委員長

福祉というのは幅が広い問題と感じる。赤ちゃんから高齢者まで幅広いテーマと感じる。私は福祉に関して素人のため、皆様からご意見を賜りながら委員長を支えていければと考えている。どうかよろしくお願ひいたします。

〔市長退出〕

## 5. 議事

### ■委員長

議事進行する。（1）委員会の設置目的について、（2）スケジュール（案）、（3）福祉センターの概要までを事務局に説明求める。

〔事務局から資料に基づき説明〕

### ■委員長

ここまで内容について、質問、意見があれば発言をお願いする。

〔質問、意見なし〕

### ■委員長

事務局説明後に、それぞれから意見をいただきたい。

つづいて、（4）現状・課題について事務局に説明を求める。

〔事務局から資料に基づき説明〕

■委員

串原福祉センターの入浴施設は故障しているが、今日のような猛暑日には太陽熱により、水が暖められるため入浴は可能。

〔意見発言後、委員 退席〕

■委員長

串原の入浴施設が使えないということだったが、デイサービス用のお風呂はどうか。

■事務局

デイサービスは使用可能。福祉センターのお風呂が壊れている。

■委員長

福祉センターの現状と課題を聞いた。身近な福祉センターの利用している中で感じている課題を発言いただきたい。

■委員

福祉本来のあり方をはっきりさせておかないといけない。説明は現行施設に対する課題であり、本委員会では本来の福祉のあり方についても検討しなければならない。るべき姿を検討したい。

また、今後は精神疾病患者や高齢者が増えていく。人口減少するなか支える側は辛い。疾病を持たないような福祉の事業が必要。これは福祉のあり方として必要なことである。行政も行動を起こしていただきたい。

■委員

防災の観点で発言する。現行施設では福祉避難所として充分な機能を有しているとは言い難いと思われる。防災訓練で想定している避難者が健常者や車いす利用者が多いように感じる。建て替えや改修によって福祉避難所としての課題が解決できればと考える。

## ■ 委員

福祉センターの相談業務は恵那以外でも実施しているか。

## ■ 社協職員

恵那市福祉センター以外も実施している。福祉センター毎に基準が違うが、介護相談、障がい相談、生活困窮者相談、福祉資金相談などがある。資料には恵那市福祉センターのデータのみを記載。

## ■ 委員

委員の意見のように、本来の福祉としてのるべき姿をはっきりしないと福祉センターのことは考えられない。各地域に福祉センターはあるべきと個人的に考える。福祉避難所のことも考えていきたい。

## ■ 委員

福祉センターの考え方として分散型でいくのか、中心型でいくのか。市はどう考えているのか。地域活動の拠点として福祉センターは各地域に必要とは思うが、経費的な面でも難しいと思うため、どこかの福祉センターを中心として他の地域をサテライト化させて考えていければと個人的に考える。どういう方向性で考えていくのか。

## ■ 委員

まず前提として合併前から福祉センターは各地域にあった。合併したからといって潰すわけにもいかない為、維持されてきた。歴史的経緯を含めて話し合いをするにあたり、どの程度の規模感で話すのか決めないと収集がつかなくなる。スタートラインを決めていただきたい。

## ■ 委員

今の福祉センターは、児童センターやデイサービス機能が併設されている。福祉センターのあり方を検討するにあたり児童センターやデイサービス機能も併設として考えるのか、それとも独立して考えるのか。また建て替えをすることとなった場合、先ほど福祉避難所の話もあったが、併設機能のことも考えていかなければならない。全体として考えていただきたい。

## ■ 委員

三郷に住んでいるが、恵那市福祉センターは利用していない。大井長島の利用者が中心。コミュニティセンターの役割と被るところもあると感じる。棲み分けを考えていかなければな

らない。

#### ■ 委員

串原の福祉センター機能はデイサービスが中心。地域住民もデイサービスというイメージになっている。しかし、実施事業の中で地域の福祉拠点、交流の場として絆を深められるような場としても、ささやかながら感じる。

#### ■ 委員

各施設老朽化が進み、改修の順番待ち状態。統合も検討に入る中で、イエローやレッドゾーン等にかかっている避難所があることが問題。民間とも連携できる避難場所は重要。指定避難所のエリアはほぼない。いざ災害が起きた時どういった避難をすればいいのか確認が持てないという声もある。統合となった時そこを心配される声も。検討の際には気をつけなければならない。

#### ■ 委員

福祉センターも老朽化しているので建替えも検討の一つとして考えていきたい。全ての地域で対応するために考えていくのか、中心となる拠点を構えて分散型で考えていくのか議論し、まとめていければと考える。

#### ■ 委員

それぞれの施設が建設から 30 年前後経ち、老朽化が進んでいる。建物のあり方について考えいかなければならない。統合するのかどうかは、わからないが岩村福祉センターは存続していただきたいと考えている。

#### ■ 委員

福祉センターは災害があった際の避難所となっているが、障がいのある人等は避難所へ行くことが難しい。それを踏まえたあり方を検討いただきたい。

#### ■ 委員

自分は大井町出身の民生委員であり、恵那市福祉センターは当たり前に利用している。また、孫も利用しており、福祉センターは無くてはならない場所。独居の方へ訪問し、話を聞いていると、災害があった際は、避難所へ行かず家に居たいと考える方が多い。立地の問題もあるが避難所としての在り方というのは難しい問題に感じる。

### ■副委員長

福祉センターはどうあるべきか、これから議論するにあたりはつきりしたい。どういったことをやっていくか決めていかないと話がまとまらない。各福祉センター同士のすり合わせも必要となってくる。老朽化や土地の狭さから福祉センターの建て替えも考えられるかもしれないが、その場合はどこに移動させるのか。コミュニティセンターとの棲み分けはどうするのか。福祉センターの役割や機能を明確にすること。

### ■委員長

一通り意見をいただいた。追加で意見はあるか。

### ■副委員長

今後の話し合いにあたり、福祉センターの無い地域はどのような福祉サービスを利用しているのか確認したい。

### ■委員

近い将来、近隣市と合併することも考えられる。それを踏まえた検討をしたい。

### ■委員長

委員から意見、論点をいただいた。

福祉センターにどのような役割を持たせるのか。恵那市福祉センターを中心とした分散型で考えていくのか、残り3つの福祉センターを含む恵那市全体として考えていくのか、議論が必要。合併前の地域協定等の確認が必要。市の福祉に関する計画等が策定されているが、地域福祉、福祉センターがどのような位置づけにあるのか確認が必要。最後に、福祉以外の機能も併用し幅を広げていくのか。コミュニティセンター機能等も併用し、地域の居場所として機能も備えていくのか。回を重ねていきながら一つずつ、解決できればと考えている。各委員の発言を聞き、事務局として意見はあるか。

### ■事務局

本日、各委員からいただいた意見をできるだけ反映し、次回以降に繋げていければと考える。重要なことは、福祉センターにどのような機能や役割を持たせるのかを議論すること。機能や役割がはつきりすることで、地域にある他の施設との棲み分けができ、必然的に福祉センターが行う事業見えてくると感じた。検討事項を一つ一つ整理し、方向性を示させていた

らと考える。細かな部分については、次の会議までに反映できるように考えていく。

#### ■委員長

この委員会は恵那市福祉センターを中心として考えるか、地域全体で考えていくのか。

#### ■事務局

当然4つの福祉センターの在り方について、検討していかなければならない。ただし、旧恵那の福祉センターと恵南3つの福祉センターではそれぞれ役割や機能が違うため、地域実情も踏まえ取り組んでいくことが必要。恵那市福祉センターと3つの福祉センターは分けて考えていかなければならない。今後の委員会の中で、方向性が決まっていくと考えているため、事務局としては現段階で答えきれない。本日の意見を反映、優先順位を整理し、決めていければと考える。

#### ■委員長

その他、発言はあるか。

#### ■委員

もし、恵那市福祉センターを重点的に考えていくのであれば、今の福祉センターは駐車場が狭いので広くするよう検討して欲しい。また、大井長島地域は市役所の裏に振興室があるのみで、振興事務所機能が無いため、大井長島も振興事務所機能を併せ持った福祉センターができると住民は安心すると考える。大井長島以外の地域の人も訪れることができるような検討を。

#### ■委員長

時間となったため、議事検討を終了する。

### 6. その他

#### ■進行（事務局）

第2回の予定は、9月29日に先進地域の視察を予定している。内容が確定し次第、改めて案内通知する。第3回は10月24日の午後2時から、第4回は11月21日の午後2時から、第5回は令和8年1月14日の午前10時から。第6回目は未定。毎回改めて文書によるご案内をする。委員会終了後、社会福祉協議会職員による施設見学会を予定している。

## 7. 閉会

### ■副委員長

今日は、活発な意見をいただき誠にありがとうございました。次回以降は大変難しい問題ばかりと思います。本日はこれを持って閉会とする。